

## 桂公田町会会館の概要

建物正面風景



**桂公田町会会館落成記念式典**

**平成18年2月11日**

**桂公田町会会館**

**住所：横浜市栄区公田町441番1**

**電話：045(892)2337**

1階平面図



2階平面図



### < 建設の概要 >

1) 建築面積等：軽量鉄骨造、一部2階建

建築面積：133m<sup>2</sup>

敷地面積：307m<sup>2</sup>

延べ床面積：192m<sup>2</sup> (1階129m<sup>2</sup>、2階63m<sup>2</sup>)

2) 建設総事業費：5,400万円

建物工事費：2,924

用地借用権利金：307

擁壁・外構工事費：1,428

備品費その他：741

3) 建物の特色

敷地正面奥の南側斜面に高い崖があるため、立地条件としてはやや難しい点があったが、擁壁工事を充分行ったことで敷地の有効面積が広く取れ、設計条件を生かす建築面積が生み出せた。

また、隣地との関係を考慮した建物配置とした。

利用の多い集会室、厨房を1階に配置。集会室は2区分で利用可能。事務室は受付機能と一体で1階に配置。

和室とメインのトイレ関係、シャワー室は2階に配置。

1階の身障者トイレにはオストメイト設備を用意した。

火気の始末を考慮して、建物の熱源は電気対応とし、厨房は電磁気設備とした。

## 1. ごあいさつ

念願がなつて自前の町会会館が完成しました。計画立案から町会会員を始め、横浜市関係各局区、建設事業者など各方面の絶大な理解と協力の賜物と感謝を込めて共に喜びあいたいと存じます。

わが桂公田町会の現会館は、30余年に亘って神明社社務所との併用で現在に至っています。しかし、建物の老朽化や町会会員数の増加による班組織の増、加えて、住民意識に高まりつつある文化・生涯学習などの多様な活動要望に対応するには現在の施設では手狭になってきました。さらに数年前、他区において「町会会館と神社社務所」との併用が問題化しています。

このような背景から、会館建設が議題に上がり急速に準備が進行しました。真っ先に建設用地の選定が難題となり、再三に亘り市有地借用の要請を行った結果現在地に決定し、併せて「自治会・町内会館建設補助金」の適用交付も受けることができました。また一方、事情変更による建設費の増額に当たっては、町会員の多大なご理解とご協力を得ることができ、一層の事業推進が可能となりました。

このようにして、短期間のうちに今日を迎えることができましたことを町会執行役員一同、ここにあらためて各位に感謝と敬意を表します。

## 2. 建設の経過

### 1) 歴史的背景

昭和初年、公田町759番地に旧家の持主の転居により、茅葺の母屋1棟が空家として残存した。地域住民122名はその敷地・建物の共有に合意し、代表者8名が登記名義人に選ばれた。

地域は、この建物を「公会堂」と愛称し唯一の地域の「寄合い処」で、<sup>ぼん</sup>煤けた居間の裸電球の下で、会合や祭りの練習など多目的に利用してきた。その後、昭和47年神明社再建に際し社務所が新設され「桂公田町会会館」として併用し、軽易な維持補修並びに日常管理の費用負担は町会が担ってきた。昭和49年に「公会堂」は解体撤去され、敷地（宅地327.50㎡）は子どもの遊び場として市の補助金で町会が運営している。

新会館の建設と併行して町会を法人化し、共有地2件の資産も町会の資産として登記できるよう、共有名義人関係者と司法書士を交えて協議進行中である。手続き完了の暁には適切な資産運用によって、会館建設負債の早期完済も含め、町会活動の発展に資することの期待は極めて大きいと確信しています。

### 2) 建設に至る流れ

昭和57年より、町会は施設整備積立金を開始しました。平成7年1月17日に起きた阪神淡路大震災の教訓として、近隣相互のコミュニティの重要性や災害用救助機器類の備蓄の必要性を痛感。こうしたことを背景として、自前の会館建設の機運は急速に高まってきた。

平成9年6月：会館建設検討委員会発足（委員6名）

会館建設の可能性や機能についての検討開始。提言を受けて建設の適地をあれこれ調査するが、困難を極める。

平成14年に入り、野村会長の大変な努力により、横浜市からの用地借用の目処が立つ。施設整備積立金も1千万円を超えたことで、会館建設の具体化に向けて準備を開始。

平成15年4月：15年度総会において、会館建設に向けての準備開始の承認。

平成15年5月：会館建設準備委員会発足（委員6名）

検討委員会の提言を基に、近隣の自治会・町内会館の調査。

これからの会館に求められる機能、設備や施設のスケール等を検討し提言。

平成15年12月：会館建設に向けて、臨時総会開催。

会館建設関連総事業費の承認を得る。併せて横浜市との土地借用契約、借入れ資

金の承認を得る。

平成16年2月：会館建設委員会発足（委員14名）

建物の設計条件・仕様等の具体案を検討。設計・施工業者の選定は透明性・公平性の観点から設計・施工一括のコンペ方式を採用する。（これらの案件は、16年度通常総会で承認）

16年3月31日：町会法人化認可「地縁団体桂公田町会」

平成16年11月：建設委員会よりコンペの審査結果報告書提出。

コンペ応募内容（4社）とその審査結果について、理事会及び評議委員会で承認。（株）積水ハウスを契約業者として選定。

12月：横浜市と用地借用契約（向こう30年）

平成17年2月：建設管理委員会発足（委員12名）・・・建設の進行管理、備品類の選定を行う。

平成17年4月：17年度総会にて、コンペによる業者選定結果の承認及び設計条件の一部変更（擁壁工事）による建設工事費の増額、備品購入の寄付依頼の承認を得る。

\*この設計条件の一部変更は、計画立案中に発生した新潟中越地震を教訓に、南側の<sup>のりめん</sup>法面の高い擁壁を強固かつ安全性に配慮した構造にしたことによる。その結果、敷地の有効面積が広く取れ、設計条件の要請に応えることができた。

平成17年5月：安全祈願祭、工事着工

平成17年12月：11月工事完了。12月横浜市自治会・町内会会館整備補助金交付。建物引渡し

## 懐かしき旧公会堂

